

労働運動とは? 回収されない



#### 目 次

《弁 士》

61

山口素明(フリーター全般労働組合 共同代表) 丸田弘篤(フリーターユニオン福岡 執行委員)

29

5

朝野 明 (フリーターユニオン福岡 執行委員)

《第一部》 基調講演

《震災ファシズムに回収されない労働運動とは?》の発言内容に、加筆・修正を加えたものです。 この増刊号は、労働組合フリーターユニオン福岡が、2011年12月17日に開催したイベント、

司会 それでは、 山口素明さん に、 今から基調講演という形でお話し い ていただきた い と 思

います。

タ

塾

水化物。 つけ麺はちょっとなかったんですけど、 生ということで、 口素明さんは、 小論文を教えられているそうです。 フリー 全般労組の共同代表をされております。 今日はお昼一緒にラー 好きな食べ物はつけ麺… メン食べたりして…炭 普段は の

出 炭水化物好きです。

司会 だきたいと思 炭水化物がお好きな山口さんですけど、 いますので、 よろしくお願 普段 いしい たします。 の活動のことは講演 の中で お話 ラ い た

出 紹介にあずか りましたフリ ĺ ター 全般労働組合で、 東京で活動をしております、 山  $\square$ 

と申します。 よろしくお願い します

え 0 とそれで震災フ ァシズムと労働運動という形で依頼をい ただきまして、 どうしようか

ŋ なと思い あえず思い つつ、 つ ところから少し。 先ほどの打ち合わせでは何話してもい いよ…という話だったので (笑)、

らですね、 h できたらなというふうに思っ ですけど、そのときに考えてきたこと、 まあこの間 私も私たち仲間の 3 11以降みたいな言葉が )直面 ています。よろ してい るいろい あって、 現状で考えてきたことを、 しくお願い あちこちから言われるようになってきてる ろな問題について共有して、 します。 みなさんと共有 一緒に しなが 論が

れ それ たことよりも重要なのは、 で、 (V わゆる震災が3月11 その後の組合内外でのもの 日にあ りまして、東京も結構揺 すごい混乱状況 n れました。 元でした。 か 地 面 が 揺

あ そりゃ つ たとおも 9 あも しまったり、 ちろん、 13 います。 そうい 被災現地の生活が った混乱ではない 成り立たなくなってしまっ のだけ れども、 大きく言えばふた たり、 たくさん 0 0) 0 混 方 乱が

# 3・11後の東京

です た。 7 か つは 41 0 明 全国 ح か M 化 ŋ JII うような状況 埼 バ ま したけ 1 玉 ・ンと落 • 千葉、 n らまし ども で あ る 計 て W で は 画 停電 す 東京 ね。 0 西 が 工 ス 0 行 方に 力 わ V n は電 ま L タ 気が た。 来な 動 心 か な V を とい 守る 11 う状 た 工 8 V 況 が 周 辺 タ ら

そし は っ て、 番嫌 まあ 7 さ、 今さら 41 大変な事 然だっ た東 کے W たん 北 É 0 が被災 7 な 態が です ₹ \_ 0 て 番困 起こっ it 気づ したことで、 ر اخ :: か 9 た され 7 9 ま 0 11 ると り、 が た タ コ h 物資 バ ン で いうことで、 ビニ す コ…ハイラ が け 欠乏し などか ٤ 都 て生存 街 1 5 心 トが たち が 0) 騒 大 然とし 0 なく どころ 衆消 危 機 な 費 に陥 た 13 9 を支える h 7 モ です しま る、 が った なく 口 ジ 41 9 ス 9 テ イ

煙が 況 頭 だとか 13 が 大きな液 つ V て人々が呆然としてい うの 晶 を繰り返し繰 0 テレ ビ が ŋ b 、る様子、 返し… Š á 6 津 Ø とい 波 る駅に が襲っ うの 設 が てく 置 ず されて 、る様子、 っと流され で す 家が ね て 破 W 壊されて  $\lambda$ る。 なそこ これ V · く 様 で が だ

小さな 3 月 K 11 もそう H か 5 W \_ う 週 Ó 間 位 が 出 経 って 7 状況 か 5 を伝えるとい そう です ね、 うことです 4 月 W 0 よね 13 ま で 13 ろ h な ま あ

選択 とつ。 たん 分たち K 押 ま です フ n て観 です そし うと ア し流 が 況 シ Ít Ó S され ず るだけ てもう 生活 が ズ ね。 41 4 ó っ とネ ずー 一盤に それ てい が 0) 0 Ú 危機 7 Ú なぞら が ح 実 あ で ッ つ p 家屋 なく つは に晒 í す す 1 とそうい 0 て、 a Þ ひとつとい さ、 され く 3 が テ それをあ あら 無力 てます あ ĺ う情報 あちこちに張 7 月 って、 ビでそうい Ø で 13 11 ・うか、 it る あ る  $\mathbf{H}$ 論点が る種、 以降 に晒 んだとい 自分たち 9 7 چ 実は 言され う経 って テ たつとい そ 消 ŋ そ 一験をし 続 され 0 が 8 V う感覚が 61 そ け ぐら ビとか 無 Ò う 土壌 7 力 0 n 7 を眺 うされ しま が 7 W う な 支配 :与えら ふう ic 13 て、 あ る 0 0) あ 8 5 て情報被曝 が に始め 的 て る て あ 0 41 助 だ る種 はネ れたと 震災と復 11 it 0 や 9 る ると思 ま た け 無力感が 13 0 ッ ど何 トと ŋ 0) W 言 な …とりあ で 顚 É う 11 0 ことが、 まま は か 分 b た 41 ます ねえ付 たち できな 吸 な 0 それ えずそう は 11 か。 Ít か が 無力 は自 大き n it S そ 7 0 Ġ て で n 7 考え 分 圧 n 11 0 た が 14

# フリーター全般労組の取り組み

うような状況が生ま

n

たん

じ

ゃ

な

W

か

と思

0

てます。

あえず て話を その で話 中 しようと。 「不謹慎なことも言おう」と。 -でうち をし 7 0 ずー 組合 いこうとい っと はです 方的 うことを第一にやってみ ね、まあ な情報に V ろ W に晒され ろ考えて、 7 41 最初はとにか た。 る状態ではなくて、 それ をみ く集まろうと。  $\lambda$ なも とに 欲 ح ر かく顔の見え 41 で集ま て、

れてい れはあ みんな同じ声・ 当たり前だけど助 る人も 物資を待 13 る状 同じ 沢沢があ 9 it ことしか言わない てい なき る人 や V が け ない 41 る と思う んですよね。 助けてもらえない 悲惨な状 救援に行か で追 況 で なきゃ あるこ 41 出され とは V た人も け 変わ な 41 0 b 41 もち る、 な うろんそ 放置さ で

でも が考える場所 僕ら がとにかく考えたの 話をして、 自分たちで立てる場所を作 は、 S ځ 9 0) 大きな声 0 中 んなきゃ に巻きこまれ V けない ることなく、 んじゃな W かとい 自 分

それ が 「不謹慎なことを言う」という含意です。

所も作ろうとい で考える。 それ が結 果良 うことで、 かったのか、それはわからな あまりここで言えないこともですね…さまざま言い 41 んですけど、 ま あ 不謹慎なことを言える場 合って、

その 思想 る種敗 その結果、 たとえば せいで事故 .. 2 0 1 戦…1945年の敗戦と同じような整理がされてい 「責任の問題」 出 1年5月号) が てきたのが資料として配 起こって、 に引用 があ 結果、 いまい して 被害は にされてい V.) る3月17日に出した声明。 9 あら 7 W ただい Ŵ くだろうなと。 る人に及 た文章 んでい くのだろう、 〇山口 る、 まあ…つ その I 素明 とい とい ときの 「誰も殺す う感覚です まりこれ うことでした。 問題意識 は な んよね 天災で はあ 現 代

# 責任を無化していく言説

5 え とつは原発なくしては生きて ば、 東京 で計 i画停電 がさせら 11 け n な たと V いうことは んだぞとい う脅し ふた 0 0 側 0) 側 画。 面 と同 が あ 時 る に、 んです。 被害 0)

有 V させ ま 力 V う 0 13 責 は 任 71 が と あ る 9 0 0 ス か ケ を 間 1 プ わ 0 ゴ せ 1 な 1 11 と 7 言 実は わ n ま n L が た \_\_ け あ れ ど 0 た 0 で は n な 11 か

0 寧に考 7 10 13 Z 日 か な ż 0 41 な 大 な 11 空襲 で、 き W み 単 づ け た け 化 な な 11 な位 0 11 h 7 か 処理 で 置 4 す づ L H 17 L n を与 ど、 7 な L W ええら **しまう**。 感覚 0 ح n ま ŋ L た Z 7 0 h な被 は で そ は 害を 0) な は とき持 11 共有  $\lambda$ か ٤, な ち 事 ま 態を ま 7 あ 11 本当 る 作 状 0 況 は 計 う 造 t を ょ

事業者に え 出 n ず 力 で、 行 0 た 0 対して 前 か、 ち 9 0 7 か ゃ Þ h と責 補 は n そ を n 償 ラ n 行こう、 (任関 言 を X しろとい تح ガ 0 でと 係 7 0 ょ を 41 ĸ ح う要求をつ う 明 か かく なき な、 6 V うこと か 東京 ど にし や 0 きつ で東 電 け 程 7 力は な 度 41 け 電 か 11 0 全部 責 なき る 前 と 活 思 13 任 を、 動 補 行 11 ゃ を 償 9 ま 11 やり じた。 どう l て、 け 3 な ٤, 最初 ました。 41 11 う形 直 だ そし 後に は 3 ろ うと、 で果たし て 人で、 フ 東京電 ij す 何 7 ね が 万 V はす 労組 か 0 な ž で

若干ア 一大事 でで た う にまあ よ り す K, な i a る ナ だろ 警察ば IJ 官庁街 な ン か Ž が な ٤ 出 か な か 7 ŋ h 11 ね . う。 あ で が ŧ す。 13 街 ŋ と る 0 とこ 気 内 ŋ 中 á iz 幸 は ろ ź 町 真 L んず 3 なか 13 3 と 0 41 暗 人 う地 人 9 でも で た そ 行 h 域 で、 7 て 11 0 す 7 東 V ít です 経産 京 Þ شخ 電 行 ね :: Ŕ 省 力 9 ち 0) 0 やえと まさ ・まあ す 前 0 か b 近 て 東 Š < V 13 غ う 電 13 う あ 前 ŋ 0 で あ 0 は え て、 パ ク オ 5 真 フ 0 動 n 0 1 ち ス れ ば 0

ŋ 、ます。 。 圧 0 倒 的 É 13 は 責 責 任 任 ち を ろ 転 h 脈 嫁 化 Þ とあ 7 7 V 61 ŋ ´ます 言説 と そ 41 う n を曖昧 0 が 社 13 h 会を しな 任 覆 11 ح 11 尽く 41 う動 きもも 追 7 及 41 ち さ Þ 0 h 後 あ 0

まあ

予

想 う

上

を

L

<

と

11

う

か

b

ち

ろ

責

b

ち

や

h

と

L

7

14

W

it n 何 結局 か 0 被害 7 言 松 が 0 Z 本 た h が b なに 出 7 番 き わ 'n 7 か 延 か n か 々 B Þ 0 す 7 9 U 7 41 0 る、 ま は たよ み オ h な ね、 ル が ジ 被害に あ ヤ 0 パ コ ン ょ マ 1 0 て シ と 13 傷 ヤ ル か 0 け が < b n 徴 頑 た 的 ろ う

# うような認識

が

の

本当は 被 害をちゃ h ととら えることが必要で あ 0 て、 そ n は 東京に 住 h で W る 間 b

を受けているんです。

高校卒業し うち 0 組 て上京し、 合だと、 実は 仕事 東 につ 京 生 ま いてという人たちが結構い n 東京育ち は そ  $\lambda$ なに多く ます て、 北 関 東 東 北 出

の人たち ント たとえば福島 め 5 0 )仕事 É か くち らす が れば、 したい 2出身の や とい 仕事 ということで東京に う状況で 人 な がな んか べだと、 す。 が状 況 高校卒業し でこっちに出 来て、 そして水商売で働い て、 てこざるを得ず、 特に仕事がなく て、 そして生まれ て生活を立て フラ ワ 育 7 T る。 0 た ン

て全体 そう が いう 意味 様に被害を受けてい での 被害をもう 少し るわけではない ち Þ  $\lambda$ ととらえ また原発が爆発した福島現地だけ 7 11 n ば、 41 ろ  $\lambda$ なところ 13 あ が 被害

け を受けて です それ と同 ね 11 .時にあと被害の偏在…偏りもある。 る 東京か わ け ではない 5 が脱出 0 した人たちもいます。 特に私たちのような不安定層とい 放射性物質に関しては うの は、 Þ 動 9 ぱり 41 7 います ŋ が Ĵ あ ね

ある は 3月 私たち は海 11 日以降、 くことが が事務所 外に行 できず被曝した人たちがいる。 つちゃ 人が かまえて 41 ったと聞い なくなりましたね。 41 る 0 は初台なのですが、 てい 、ます。 つまり避難しちゃ 富裕だから動け 福島ではより すぐそば る人が 9 顕著に表れたことです。 て。 に高級住宅街 もち いて、 ろ 最 h 九 が b 重要な 州に来 あ Ž. たり

# 放射能は平等に降り注がない

で 作業 が出 てその後、 了てくる。 に従事し の作業とい それ て 畄 (V う (総理) る Ó を浴びながら を続 人たちは、 が がけて 冷温 V3 停止 作業する人 < ほとんどが地元に原 À したみたい だと いう。 たちが大量に なこと言 続け 発の てい 0 けば ある地 ・必要に てますけど、 様 域 な Þ 9 な放射性物 0 人だそうです。 てくる。 そこで なを含 n か

3

11

以

降

で、

断絶だと

か

世

0

中

が

変わ

0

ただとか

いう人が

非

常

13

(V)

h

だ

け

れ

ども

険だと に貧困 そう ス たとえば ナ 「な層 分 ッ ク そ 2 か が たことで L ·不安定 41 0 できる。 わきで てうち 7 41 る な層が 作 福 状 0) そこ :業員 組合 況でも、 で求人 より 員 0) 41 仕 0 わ 多く 事が 中で きと 日 が Þ b あ あ か 0 0 れば 何人 は活 糧を得る必要が 被曝を強 る、 はそこに そ 淣 か 福島 を呈 0 人 11 たちち b 行 出 身 n ζ. 7 7 が あ 0 V そうい 人たち る。 飲 11 る る。 む場 0) で、 つまり これ うふ 所 は、 そ が うに流 たくさ は 必 n 要で、 ず 0 で原発で て仕事 0 と変 Ñ れ 7 丰 0) わ ずをし V ヤ 5 9 バ 事 な 7 クラだと 7 が 相 V ます。 対 る

てそれ それ うに思っ 放射 見 は ;を見 あ て書き Ś 7 0 て 5 て 種 V n あ 41 た地 うの るん ました。 单 だけ で、 域 は決し 責 ń より ども、 任 て平等に 0 多く 問題を明 Þ 降 降 は ŋ ŋ ŋ 変わ ?確にしてい 注が 注ぐことをちゃ な 5 な 41 11 かな 放射能 構造がまだあ 13  $\lambda$ とい と見 は貧困 てお け な な る W か 人 わ んじゃ なき け 仕 です ゃ 事 Ĺ な V が け な 41 な か 11 そ あ う

れで震災フ ア シズムとい う 0 は 単 純な話ですよ ね。 そ 0) 任 関 係 を あ 41 ま 人

な け くには、 では べ 力 クレル な 私たちが する だとか 希望も 中 で、 ひとつ シ あ 力 Ì ž<sub>o</sub> では ベ 0) ル 放射能に ないことを明ら トだとか 吉 Ĺ か聞こえな 関し 7 か W ろ にすることです。 41 よう h なことで学びました。 にすること。 決してすべ だからそれを乗り越え 今まで使っ て無力化 たこと され たわ 7

て自 では でも たち それ なく、 その あ が にも n 知識 決 自分たちで測 か とづ して ただと思 が 重 無力では 41 一要な て要求 0 7 0 のではなくて、 てどう なな V Ĺ ます。 でく自身 交渉 な 0 することが 0 か 力を自覚することが 0 政 7 府 11 を 東 信 うことを、 京 用 する 圏でも活発に 0) 自 では 震災 分たち なく、 ラ 行 ア わ 0 地域で シ n マ ズ 7 ス 4 41 コ ます。 討論 ミを 13 回 信 したりだ そう さ 用 n す

# 棄民としての自覚

うことが言えるかです 運動とし が、 て、 その 全然 場合もうひ まだ労働運動 とつ E 状 0 況 V を考えなき 7 0 話 は 7 や Vi 61 け な な 11 13 h な で す と思 it ど、 0 どう て 61

す。

ば 用 u な存 0 機関 在 で あ 紙 る 13 ことをちゃ b か n 7 んと受け 11 るん んですが、 止めることだと思うん 大きな状 況 とし です て、 不安定層は 資本 か Ġ n

18

下 をし ることの んだけ 0 いだとか てきた V 0 価 にじゃ 労働 値を 首 \$ 勄 転換 っと底 組 ŋ な とは 合 八させる か 0) 運動 何事 流で自分たちは無用な存 ح 取り をや か、 んだけ貢 ೬ 組み · つ 7 が (献してきたじゃ まあそれ V ると、 必要だと思っ は方便 在 生懸命働 であることを受け 7 ح な V 11 して自覚され .ます。 V かと言うことが てきたじ 7 ゃ 止 8 W な て、 れ あ 11 ば、 りま か、 そして す。 別にそれ 無用 0 け は で 賃

入できな 13 11 構造的 なことが言わ V 必要 椅子取 K は労働 なく 働 'n n ij ゲ なっ 労 な ま てきて は供給 す 4 11 よね。 ことで挫か 0) 状態に 過剰状 V でも る あ か n るの ら、 態で 11 てい < す。 、らやっ は変わ 企業に 生産性が たって、 5 必要とされる能力をつ な 11 0 上昇し そこでみ 座れる椅子は決まっ て、 労働 んな挫かれ 者は ける教育が 必要な てい てい 必要 るわけで、 競争に つ 7 き 7

うわけ 生保 あ実際計算すれ W 、るけ 13 の受給 ま っです は生 れど取 Ĺ に抵抗が |活保護を受給 ŋ それ ば時給が たく ない あっ でどうする · つ て、 5 して て言うわ 0 うち Ŏ いるう って話になったときですら、 円台と。それ Ó けです。 組 Ś 合に来るまではですね、 の組合 で働 0 仲間 41 て \$ 41 るわけですよ。それでまあ体壊 申請者までが大変だっ 生活保護は選択肢とし 一日 10 時間超えて働 たわけ 7 41 て、 です 知 ち 0 7 ゃ ま ね

け ない 現実に生活保護受給者へ ま とい 存在 であ う *7* \ ることを… K ル が あ ·賃労働 の差別 0 て、 それ 0 が あ 場面で必要とさ るし、 を 緒に越えることも労働組 それ を内面 n な V 化 人間 して であ 41 るところ ることを自 0 役目 b だと最 あ 認 る。 なきゃ 近 自 は 分 思 が

# 怠業の権利

することだと。 ま 組 合 たとえば 0 意 義 0 て  $\wedge$ 13 う 1 0 7 は ケ ッ n 事件 は f で u 有名な か 5 教 エ わ イ 1 0 ア たことで、 ワ ズ 4 怠け ブ Ź メ 利 で

集団

的

に実現

て

<

9

7

41

う

Ó

が、

労働

組

合の役割だったはずです

Ĵ

ね

n

ば

なら

13

と思

0

7

V

ます。

そう

W

う

ふうに

震災

ブ

ア

シ

ズ

L

0

7

W

うことに、

VI

か

口

収

され

な

61

0

か

0

て

W

は 門別労働 だか 8 5 間 0 実現 8 ち Þ 蕳 h を と怠 は ス 働 П け か 1 ごさせ な ガ 13 ン ろとい に ぞという運動だった。 にします。 うことです。 メ 1 デ ر س 8 そういう怠業 時 出 間 発点とな は 寝る か つ 0 5 権 8 0) 利 時 取 9 間 7 ŋ は 組 11 Z うことを 11 は 7

20

Ľ 至る経路  $\lambda$ や なそ あ今 労働過程 の段階 n は非常 ぞ n 学 か で どう 13 5 排除 個別 Þ な 職 され 歴、 化し 9 7 家庭 挫か 7 M るか 11 環 る れ とい 境、 ることが うと、 本 Ĺ 0 中 セ 心となっ 人 々が ク シ ユ 労働過程に てき ア 1] て テ イ W る 組 と思 る込ま Þ 文 化 41 が ま n 異 す。 て搾 な る 取 3 わ か n け で

要なんだと思っ す は お 人化 それ 反撃 前 が に足 悪 て 5 を指標 V 13 ŋ h ています。 て、 なく だ、 非常にきつく に社会的 61 とする理屈 その 緒に怠け な 面 配 では なん な 置 が決め 9 てくる。 る権 です u 利へ ít 5 f بخ n は先進的な取 越えて そこに自己責任 てい 自己責任 く社会にな 11 け では ŋ る支えをどう 組みを続け なく 論 0 7 が 社 < 11 会問 る。 V 込 Ć だか 題 ん V 0 7 5 な できて、 h b V 0 だと < 問 0 題 や 結局 る か 11 は が うだ 41 す 0

いる ように専従 11 生き 私たち よろしく しろ 7 するところ わ it 13 が る仲 を置 そのことにこそ積極性 ですよ。 必要とされ 、お願 たり かな 蕳 \$ まで拡張 いします とか、 組 41 組合 よく 合に ない とい 、働か なん しなけ 来て相談 資 ない です う形 苯 ń が か 心で人 が、 聞 働 ばい あ 5 かな ると転倒させるには、労働概念をちゃ 必要とされ 11 みんなものすごく けない た は りと 41 はたらく」 0 と思 て言 か、 な そこで人を気づ 心います。 われ 41 わけです。 るんだけれ でも実はそれ 「はたら 私たちの ども、 いて そこに労働 か 組合も、 は ったりとか、 た 実は いる。 41 んと L 「はたら たことで 0 「はたらき」 生活保 概 u f と同 ħ で 11 護 7 な

学ぶことは

す

ベ

7

西

かか

5

やっ

てくると私たちは思っ

てい

ますん

で、

何とか

0

V)

7

W

きます

# **I律的に物事を討議できる空間の大切さ**

するか

1/2

うことな

んですよね。

S A

V E

福島

です

ね

考えて くと回 13 け 収され るん は 回収される方向で考えれ だなって思うんです。 ば容易に見えて W て、 かって言えば、 生

n は 何 か 9 て言 9 たら、 今震災ファシ ズ 4 0 中 で問 題 13 な 9 7 41 る部 分 は、 福 島をどう

けよう 福島 て とい 9 0 てくると。 野菜を食べ うの が、 もうこ 福島 て、 そして福島にこう 0) n 人も苦しん は最悪の選択だと思うんですよね でい やっ るんだから、 て働きに 私たちも 行 9 て、 そこで瓦 同じような苦しみを引き受 礫を片づけ て被曝

でお互 周 りに そう る かというように思っ うことを考えて、 っでは 例え 11 13 る 0) ば放置し なくて、 働きを評 人間を…もち 自律的 自 価 て に合う、 ています。 V 分たちは、 Ś 11 Ļ に物事を ん福島に 認 そこは引き受けなくてい こう め 討 61 合うというような空間が作られて 議 る人間も含め 11 Ĺ ったところと別な って決 め 7 V てなんです け るよう いし、 つながり な場を維持 けど、 と、 そして自分たち Ć どう V あ るとか くことが重要じ やっ ï って て生か は自分た V ζ. 別 0 す Ò か ち ح 中 0

ましたが、 が だ ?まず でいきたい V たい その これ 陣 を と考え 切っ 震災ファ で時間 7 7 11 13 お シズム なりましたでしょう ただけるとい ŋ ŧ に回収 す。 いされ うように信じており な か。 41 労働運動 ち ょ っとまとまり 0 ります 7 W ので、 うの は Ó な 私たちはそれに 最 後的 ような話 に言えば では · あ f u ŋ

以上です。どうもありがとうございました。

パネルディスカッシ

ヨン

# **司会** 山口さん、貴重なお話ありがとうございました。

カ それでは今か ッ ショ ンという形で議論を 5 フリ タ ユニオ たい と思い ・ン福岡 ます。 の丸田 朝野が 入りまし て、 パ ネルデ

# 丸田 それでは、総体 3・11以後の日本社

出 それでは、総体としての運動的なことからちょっと。

じゃ たことと、 人も自殺 んですけれども わ 大 八きめ な 5 V な してい か な話 V 震災と、 と 今さら か か るような社会で、 13 5 う話 V それ 何をとい きた が あ から原発の事故によって、 W Ó なと思 う たんです Ó 今さら危機もな も…要するに、 0 7 が、 11 るん 僕 らの です いだろうとい すでに社会が壊 中の話では it 新たに生まれた状態があると思う ど、 3 危機 いう話も 11 で ħ が はじ す 7 あ ね、 41 0 め た。 断 か そう 5 蕳 あ ح 3 9 た

言わ たところで、 いう ひとつに福 0 たとえば、 動員 n たら、 で一 が できてきて、デモ、 それ その 万人集まって集会やりました。 0) 運動 中 は何も でも原発の集会で反原発・ 内容は実は 0 中 で 変わ 何か って その後一万人の 何だっ が変わ 11 ない たの つ たか じゃ か 0 それ ない 集会があっ とい 脱原発っていう流れ 何も変わ かと。 がはたして本当に変わ ったら、 0 た。 て その V 共産党と既 な 11 一万人の集会を があるな とい 存 う認識と 0 かで、 た 0 政党 0) か 0 Þ ح つ

期待 うい っ たん う人たちと新 か うに 合 が変わ 0 て、 だけけ で 造 と 番過 があ るかも n れども、 る 7 b 激 るとは思う は な人が こう V という予感的 まうことなんです 結局 関係性を作るとい Ŵ 何も変わ 9 ・要す んですが た原発も大惨事 るにこれ なもの 9 7 ít とし それに 11 うような中で、 بخ なかっ は破壊が足り て、 ĸ そ つ なり、 福島の たとい V の程度では てもう少し聞 何か う認識。 何か なく 人が が 変わら て変わ が ここまで逃げ 変わ ?変わ か る せ な 5 n る か は 7 41 な か よう 僕 もし か b 41 てき 0 ٤ ただきた た n n 0 な て、 Ĥ う な 本 か V W ŋ Ò لح

### 出

そうなんですよ

になる てことは 東京でたぶ 9 まあ 0 て たか か V なあと思 Ĺ いことで、 か な…集会が ん一番大きか ったなあと思うん つ それをあ 7 あ V 、ます。 ń 0 、ました。それで当たり前 た反原発の集会っていうの んまりくさし です が、 その てもし 内実の ょうがね のことで呼び 問 題、 は、 運動 えなっ 原水禁が 0) か 後は想像 て感じもして け Þ て、人が来る った、 力 0 4 41 万 0 0

きな流 発法制定み のときも W う とし 反原 Ó た は、 ては 13 発に大きな広が な一 '86 あ 年 るん 9 チ 0) エ だと思 道筋で ル ノブイリ 'n ね、 があ 13 、ます。 今もその焼き回しというか Ó が て、 あ 0 て、 大きな集会もあ そ Ò 頃 僕 は学 9 て、 生 繰り だ そこから署 9 た 返しが基  $\lambda$ で す 本的 脱原

勢力地図を変えて それ で 緑 13 0 党を作 かなけ ń · ていこうとい ば変わらな 41 う んだという人たちもいます。 志 向性 13 向 かう 人たち b 41 まあ、 Ļ 議会

ともあるんだと思い 13 ですよ るので。 ね。 非常に難 ますけど、 しくて、 それはちょっと僕の領域では そこは、 は なからあきらめ な な 11 11 か ほ う なという が V V とい ・うこ

人は よう 発揮 るかとい すれ ひとつ しそこ うことが問題なんだと思うんですね ば の当たり前だけど制度圏とい W か W 5 大衆的 それ以上の なデモ、 そこか 取り組みとか ら選挙で法律 ・うか、 試 みっ その想像力っ てい :を制 う 定 Ó L が、 ていうの て変えて どれ だけ は W 発揮 < 出 と する てき W う

が自 件を変え それで原発 0 分 殺する状 あ が て有期 まり 中 関 わ 変わら に偏っ 況 何 9 化し もできてい 0 7 中 V ちゃ ない てい で、 て言うの b こうだとか 生活保護の受給者が205万人…206 ったんです ないということもあるので、 0 2 は 7 何な 11 , けど、 うの 無茶苦茶な話が出て んですけど、 が、 そこで実際社会が まあ、 それ 運動 は そ 0 V 一方で ある種 るとい 0) 貧困 Š 0 僕も圧倒され 万人い 壊 う状況です の片棒担 0 想像 n 7 て、 力 W て、 0 W 貧困 よね で 7 n 3 W W [です。 万 る て、 人

しさは なん です 非常に感じ どうにもうまくこう…うまく て います。 別 0 回 |路を見 5 け 5 n な 11

論し あれも らな とっ の 人たち 原発 てすごく記 さまざま議 て 41 W んです くさしたくなるようなところがあるんです ますよ 0 \_ に けど、 致点 全部篡 録 論 いされ で集まろうという言 なが 議論し ゥ 奪 7 オ され , 5, 1 11 していて、 るし、 ル るという批判も バスト 41 ろんな論点が 運動として紹介され 1] 先住民のことであるとか 1 41 0 方 占拠運動 あ が 液噴出 あ るようです ります ī が、 ってい 才 でも ている。 丰 Ĵ る。 ユ が ね。 パ \_ 方で、 イが それが実際 海外基地 だけ 僕 は あ ど出 中 る 行 でも 0 じ 9 ことで 7 7 は や きて 白 な な 0) す 人 41 11 0 あ で 41 か るこ 組織 ると す 11 b か

する て生まれてきてしまったと。 たような、 こころが んだか 脱 そう 原 発の 0 11 運動 う 論点を言うことは分裂を招くんだとかね、 団 [結だというような運動志向 が です ね 脱原発 しか言うべき が では 実は世代をポ な な 11 んかず と か、 ĺλ 脱 ンと飛び Š 原 発で ん昔に聞 致

点を出 7 てそれに巻き込まれ 知 んですけ することを大事にしている。 な運動だから、 いる。 つた。 そこに断絶を感じるんですよ。 していく 実は ず そこの中で生まれた論点は別に消すもの それ かが っと国民運動 る人たちがもの 大事で、そのようにしてい が 実に 口 これが 1 が カ 自分が関わ 主流運動で、 ル 僕が すごく多い なも '80 の 年代9年代に経験 でし ってきた運動というの んだと。 なりをひそめて ろんな人たち かなか その 0 じゃ たんだなとい 運 してきた運動文化だった が な 61 動 W か たけど、 0 か どれ 負 われ は非常にちっち 0 連 うことを思 ることを追 だけ多様に論 また出 続性 が でき 求

は さなグル に考え ただ、 いこととい て、 プ 方 で 何 で、 う (V か 行動 か ろ さ っ V ろ討 きちょ Ű 13 7 11 h 議 13 で < 0 、人たち と話 て は な Þ 0 V 0 7 中 か もたくさん -で言 いこう、 2 てましたけ ズ 集まり 出 レまし てき たか 7 がたくさん بخ 13 ます。 V ろ でて 計測 13 ろ 計 13 限 n 測 5 て自

## 労働 のふ くら

丸田 みた なと思 出て かと、 とか ンと 原 V 11 9 V 原発以 な感じ フリ て うところでや í る 11 とい V 限 0 らず、 0 う話をすると、 う話が 0) 夕 外言うべきでは なか ところで。 1 ユ 例えば労働運動で、 ニオン なかきち あるときに、 0 て、 まあ そう 0) 例えば山口 中 んとこう話 な ではそう そんなに 13 11 そうい ٤, ったことと 「さん 特に顕著なところ そうい b う話を自 な いうことは んはどう L 11 ・それ 7 V んだけど、 うことがあ うの 11 は。 分 いうふうに考えて な 無か V 0 は、 中 し…まあ 労働 でも 例えば では るということで 9 た 消  $\lambda$ 運 なん だけ 動と 化 反 L 天皇制 なく 関係 بخ W か フリ る W そう 0) ち だと V な h 13 た か や 夕 なと。 じ じ か 1 41 41 け う p や ユ な

私たちは 当然生活の 問題、 労働 0 問題とい うのは抱えつ つ生きてい わ け

出

なり

グ

゚゙サリ

とくるところな

んですけ

どね

たとえば、

フ

1]

夕

1

ユ

ン

٤

11 フ

う共通認識があ

0

たと思うんです

Ĺ

ね

あ

る **(**笑)

V

は

1)

夕

全般労働組合も、

ح

n

は丸田

さんたち

0

中

で、

ある ニオ

分たち て言 な図式 て、 と考えて な関心、 とが言いにくく そこでつ 生活 it わ 13 る な が ゙あ 力を だろう 0 41 V や労働 交渉 できたけど、 って、私たち るところもあるんです なが 削 差別や芸術、 と争議や 0 13 で 0 みにて生きるにあらず、 たり、 なっ そこにそうじゃない 11 < 0 んだと。 って そこに立ち切れ てきてい あり 動い そういうところに様 n 方は常にそれを脅かすものだから、 てい ば る、 そう一 V ね 11 く幅をも というか、 でも何 んだとい よと。 ない 生 一懸命 なわ っと広 ところがあって。 か労働組合たるも それだけ マワー けじ うような言い 言 自己規定とし 0 げ 7 や たい ない 41 つ るん だと細るし、 て自分たち です 、そこに だ 方をする人 てね、 け 危機です 0 か。 わざわ か くあ の関 文化 私たちの 労働組 な れだけ へたちは 心領 ざ変態労組 的 なも な ベ 合なん 幅 しみ 力 域 そう思 をも だ が が 0 た ある あ Þ だ 0 0

0 僕 化 は 代 0 表に まり な 社会運動との 0 た h です Ít 連携 ど、 を強 方針 め 0 7 13 0 くことを方針に と L て、 社会運 入れ 動 ٤ た h 7 だけ 0

れただけ Þ 0 人では な か な な か 13 のだけど、 V です。 その クビを切られたから来たって言う人 人の 人生領 域 0) Š くら み 0) 部分 でも 何 とか ビ 切 0 な

丸田 でも がって Þ 0 ぱり、 きたい なとい ふくらみ うふうに思 の領域 のところが、 って V るんですけど、 そういう生きて なか なか難しい いく…何て です いう んだろ

生きてい でもなかなか、 くことを賃労働に矮小化させないような何 そうい ったところと両立するの が、 かがある ち ょ 0 と普通に交渉とか んだと思うし。 Þ

現実的

な問題が

あ

ŋ

んはする

んです

ít

出 そうですね たら、 それ で時間をとられて大変とい う、

# 圏者との

丸田 そうです 原発と労働の 脱原発の 関係で思い 運動の話 原発と今日 が つ ち 0) いた質問をしていきたいと思うんですけど、 ょ テ 0 1 と出てきたんです マであるファ シズムであるとか災害ナ Ít ど、 朝野 ਣ À そ 0 ^ ショ まず h で í٩ ナ 1] ッと思 ズ

例え 玄海原発 13 んば f か Š 0 u 0) f 労働者と手を組 が、 ある 労働組合にとっ V は他 0 みたいと。 福 て、 岡 0 労働組合でもい 原発とは被曝労働者のことであ W んですけど、 そういうところと るん で す が まあ

と書いたりしたんですけ 思うんですけど、 でも ただきたい なかなかどう なか な かその糸口 したら 独特な空間みたい 「 が な V W その糸 んだろうと。 11 なも 玄海  $\Box$ つ 7 0 町 まあ b 41 9 · うの あるし、 7 ブログ やっ が ぱ に何か 思 ゃ ŋ 立地 11 はり 付 沈黙 か あ 自 れば 体、 れることが 0 相談 壁み どこでもそう たい あ てください 0) n が あ だと

出 それ、教えてい ただきたい です ね (笑)。

た 限をどうするかって話があ それは んだけど、 て、 多く ねえ、  $\dot{o}$ これ以上緩和できないという問題があると。 人々 だから…ただ言えるのは、 が 福 って、 で被曝 それを今 心続 今結局どんど 0 け ところ緩 Ź 13 る 和で ん仮 P きる状態じ な 設 13 0 で 循 すか。 環ポ や ン で、 な プでこう V) 線量

足り うと、 溶け たとえば今、 そうするとそこで働く 験 なく てる あ V る人 物質 とい な わ 9 Ø たち ち うの 出 る 上 てく ゃ 停止、 は 限 が 11 ます。 値に 、るわ ある み 達しち 冷温 人い h け わけでし なも あ で、 る 停止だっ ず う上限 人 そうするとみ ゃう労働者が n 枯渇 0 ょ。 予測 そこを水で冷 て言っ します。 13 達 だと来年 しちゃ 7 たくさん んな被曝 収束作業ってず 41 るけど、 う。 Ö 春 Þ 増 しち し続け < 5 ž 要は W 7 や きちゃ 13 V Ź ・ます 燃料 は、 いたら、 っと続 うか Ĺ 落 もう今ま ね。 9 当たり こちち 5 ζ 被曝 で \原発労 対 前 や 的 ち だけ 0 て

きにどう つっ É じ こむか 9 や て あ やっ どう 41 するっ て、 か b それを許さない 0) て言 Š しく たつに Iったら は 今ま な ŋ で全原発労働に従事して Š ます という形で取 た 0 Ĵ で す ね Ĺ 線量 ね。 ŋ ひとつ 組 緩 むか 和 が が 政治 は 41 課 な 政 題 的 治 11 です 課題とし 人たちを 的 13 線量 ね て出 終息作 和 を てきたと b う

ことになるわけ b 原 発フ ア で、 シ ズ 、ムだと、 「じゃあ私が行きます」みたい もう被害を拡大しな 1/3 な人がたくさん出ち ため に誰 か が 働 でく必 要が 0 たりする あ る 0 7

とち 0 ょ 題になると思うんです 0 と困 る。 それをどうやっ て行かない か 行 か せな V か ということがもう 0

な言 0) V ように言うと 方で、 実際 N に被曝労働 ろ いろ批 をし 判も て あ V 0 る人とどう て、 実際 P P 0 7 0 7 13 0 る な 人 がる が Vi かと。 る わ it 自分たち で す a

が

被害を受け な V ことを重視 して言っ てる h じ や な V 0) と言 わ n ます。 でも 僕 は、 原発

労働に行 か せな 41 行か な V · 行 9 ては 41 it な 41 んだとやっ 7 W くことも n は

場で は な 11 形 で 0) 原 発労働問 題 なん じ や な W かと思っ てい ます。

福

は Ш ŋ 谷労働者 「原発 に行くな 社会館 . 0 行 人と話 5 ち Þ す機会が V け な V 」ことな 山谷で のだそうです。 仲間 たちに言 騙し て連 n 7 13 か

あ

Ó

て、

.. つ

7

W

る

と

れる 恐れ な 41 か 5 絶 る、 対 だか 行 5 行 と < N な、 う話をや こうい う話 0 て W 13 気を る。 それ つけ に少 ろ、 ĺ 行 学 5 7 h で、 何 か 行 な n る う

7 ・ます。

ン

を

Þ

る

べきか

なと思っ

7

W ・ます。

キ

ヤ

ン

~

1

ン

は

できることか

なと思

37

もし なかなかみん れ こてみ 原発 ちろん、 な もうひ h V 0 現場 け な殺伐と な横 ń そこに誰 理 ども は厳 だ入 とつは矛盾 E つなが L しいし、 ったことがない ちょ 7 か いる。 オ っと僕 ル れる しますが お互い ガナイ って 殺伐として自分 は いう ザ そ 話をして、 0) でそれ 実際行 n とし は言えない… Ó はなかなか難 はわ て入っ か 0 な 何かをできるという か ことを優先、 13 てやって とわ 5 な 「行くな」と言っ か しい、とい V けど、 5 いくとい とい 13 入った人の とい · う 言 う形 状態に う うところです たほう 道も い方 で Þ は でし ほど遠 あ 2 る て が 13 0 た。 11 か て、

ディ 本当は ア ない どう 状 態で 2 て 0 な がる 0 か 0 て 11 うことに 関 して はす Á ませ Ą な か な か T イ

んじ

ゃ

な

V

か

と思

0

7

V

ます。

出 確か 非常に新しい そうです 視点を なというキャ W ただけたなと。 ン ~ ン だっ たらこ がとうございます。 0 場 か ら も発信できる。

あ

ŋ

# 労組 への申入

ので

丸田 出 それ あんまりできて に関して今の話 (V ない で、 h 東電 ですけど、 の労組 ^ \_\_ 0) 応ちょこっと関わ 申 し入れ の話を L ったとい てい ただけま す とい か う話 な

その 及され ある かと追及 クで集まり んです 責任もあ 島原発事故 なきゃ して があ 13 りますし、 W かなけ け って…要は責任 緊急会議とい な V 株主の れば それ 13 責任と 7 ح け ない 同時に労働 0 市民運動·労働組 明確化とい いうの 、経営の 組 は うの 責任もあるだろうし、 大きい 合 の責 合も は、 任も んじゃ どんなところでの 関 わ あるんじゃ な 0 11 7 かと思っ V る東京 ない 本当は てい 責任 か 0) ち ネ ます P 0 ッ う  $\lambda$ 明 Ít と追 確 0 ワ

ことで 力総連の 東京電 W 五 加 41 んだけど、 の従業員に被曝をさせな 盟労働組 合 ü みなさんご存じ たく さ ì あ いことを運動とし 0 0 て、 ?通り、 そ  $\tilde{O}$ **4**次 中 で 請 東京 て 5 取 電 次請 り組 力労 組もも h 6 で 次請という形 あ る。 る 当た で す が

0 労働者が現場に 入 9 て被曝をし 7 41 造 0) 中 で 0) 主張なんです そ n

に責 が あ るだ ろうと。

員 用 はもう で支援 を守る てち 少 Þ ĺ た h てきたと め 時 と立 ić 原発 間を丁寧にとっ てとい 推 V う 淮 うことで、 ことも 0 77. 場 て……電 あ 13 る、 な 電力総連と東京電力労 0 そ 7 力総連 0 11 責任 た わ を問 け 加盟労組 うと。 9 ても 組 ち 働 や 組 のす 申し入れ と労働 ご く て あ 原 しました。 るん 発

れはち すよ S とつ 9 と ず で きて つま なく わっ て、 7 13 実際 くくら 13 は 11 電 のことをや 力総連総体 0 たほ と東電労組に申 うが ょ か 9 たんです し入れをすると H

う非常に 分 な か たちです

ことを考えて る だろう ては そ V か まし 5 0 中 それ た。 で危機感を た個別 実際に 感じ はあまり ち ょ 7 9 ح V) できてい Ø る す 人 0 \$ 7 11 みて、 な るだろ 動きが う 出でこな Þ ば 11 と 感じ 13 かなとい 7 W る

丸田 反応 的にはどうでした?

## 脱 原 発に おける国民運動 的枠組

出

電力総連側と会っ

していたも

のが出てます て話はしまし

けど、 た。

基本的

に自分たち

デや

れることは

Þ イ

· つ

7 n

11

る

У

O

u

t

u

b

е

とか

にも

電

力総

連

0)

ン

夕

ビ

ユ

は協

**治会社** 

の社員・

従業員

0

でもそれ

K

小をと

41

ń

ことは

Þ

0

7

W

ると。そうい

う

ことを

生懸命主張され 問題だと、

ており

ました。 安全対策

東電労組

ては面

会を

拒

否され

ました。

丸田 やっ ぱ りそう Ŵ うところ が労働組合で は あ ŋ ます か 5 こち 5 0 ほう が 少 派

知 n ませ h 世間 か ら見たら。

な す 団 っ ŋ 交渉を、 と話 É 何とか 'n 方つ 労働争議をはじめるとか、 たん L V て。 て原発を止 ですけど、 今後、 め 東京 ることは えば被曝労働者 電力 ある できな ï 対 ľ W は て申 W が 可 か 出 能なの ح し入 てきて それが n を では…と思 L フ たり ひと 1] 0 集団 13 0) なが 労 ユ 訴 訟 オ

41

#### 朝野

は

b

で

き

7

V

な

. と こ

は

る

す

が

11

0

か

Þ

う

か

なと、

そ

って

V

るん

で

す

野 ろ

さん で

は

るほ ルをす す が  $\Box$ ど Ć さ 41 6 ると。 てまっ す 0 11 と私 お 日に 今 さきに思 n b Ħ 脱 再 0 に 原発 対し 認識 計 テー 11 画 デ 浮 7 停 マ Ŧ Ш たん 電 で んだ が あ  $\Box$ • 新宿で行 情報 さん 0) です る 震 が が 被曝 災 Ít ひとつ 所 ど、 フ わ とい 属 7 れ さ 私 シ て、 n 0 が う ズ 震災 غ 例 7  $\Delta$ な 11 . ファ 震災 る 13 ろ h . 右翼団 で か  $\wedge$ す シ ら始 ナシ イ ít ズ 1 スピ ど、 *ا* ま 体  $\exists$ 0 ナ 0 人 先 て 1] たち Œ 災 チ 41 ズ 13 ナ る  $\Delta$ シ 反 が お と と 対 前 話 聞 彐 11 す で したん ナ V う

1) 7

ズ

 $\Delta$ 

ア

ピ

な団 大都

体に

は 地 す が

を 植

同

じく する

することは

できな

13

と

11

うことで、

非常 別 ことで、 反対

13

勉

強 Š 大 を

n 13 غ 慌

した。

関 行 方 Ít 反

て

Ш

 $\square$ 

. ප

h

0

個

人的

品な思い

であるとか、

経緯で補足することが

あ ま 親 地

n

んだ

ん

で

発問 だと出

民地主

一義と差別

で ま

あ

ると

う

都

方…

市

が

Œ

民 原

植 題

民 は たと

地 植

主義

原

発労働者に対す

る差 W そ

0)

た

0 市 Ĥ

和

的

いう方々

対

声

明

L

11

う

経緯

が

あ

ŋ

て、

0

害

蚏

昨

7

て

話 11 ただけ n ば と思 13 ま

それ そうです は公開質 問 V う でまず 出 したやつです

朝野 出

とな が突 ただい 8 **分**然出 に関 13 h んですよ。 壇 な てと 0 0 0 てきて、 たと聞 何 反 て で 原 V それ お 発 う 主 デ そ 形 催 か 13 で主 E モ 7 n 者 になる 0) は 41 41 か 主催 ます。 と思 催者 違う b À 何 だです 9 で 0 h 口 た もも だか 内部 じ か か や が 13 ちろ Ġ で な 分 僕 V 41 it 13 うこ Ĺ ろ b 0 7 戦 な は W 0 0 と位 公開質 て質問 41 ろ 線義勇軍 返 必答が 議 わ か け 論 なと思 だし。 来て 問 状 が あ 状 を  $\dot{O}$ を出 出 針谷が 9 13 て、 だか した。 9 る 7 0 ら語 たとい 針谷 登壇 W で、 たっ 、ます する n 0 そ 登壇 たそ うだ n は it は n と そ 結果取 だ で、 n 9 41 で見 け ń Ó n h 知

発 を 止 11 0 < ま 8 ず。 ると 9 て、 先 11 うこ 議会 ほ の b とで考え 構成を変えて 運 動 た場合 0 貧 囷 脱 と 原発を実現 41 b う言 ち 13 h 方 11 7 を ろ h 61 な くこと、 戦 た 略 だと が そうすると脱 玉 か 戻 戦 運 術 動 は 的 あ

43

発の一致点以外は一切ないというわけです。

みた 0 があ で ょ、 á<sub>o</sub> だ ħ か 11 は 方は ら や、これ 人 \_\_ をナ 緒に 大衆蔑視 X は Þ 7 ず 'n V) Í 2 だと思う ると と続 L ょうよみたい 思 41 V Ĺ 7 ます。 ですよ 13 たん 脱 です な形 ね。 原発だったら で運動 脱原発しか ね が 作ら ア あ ホ n なたたちは な 7 人 41 で b 考え 造 0) n っ 7 7 る ょ な 11 ね

なっ らな 共事業が 高度成長で、 · で流 で れ込む 行 '70 年 '70 ほんとうに原発を 年代に わ 基本的  $\lambda$ n 代 に逆 です る。 ダ その に地 ね。 13 1 都 ッと各地 方 そ 市 環に n Þ  $\sim$ 13 0) ど 8 で 原発立 わ 方に るた 公共投資 都 市 1 原発 め 0) 9 には、 と人が 地 過 密問題 が が が あ 始 作 流 る ま 5 原発を支え る。 わ n n け 込 7 なん 過疎 東北 んでくる。 W < です を食い など地 わ 7 it W で た構 すよ 特 ね 止 方 め 0 13 造 過疎 東京 ると ね。 を 変え そ 問 巻 11 題 は ħ な うことで が す は H 大き '60 n 年 11 ば 代

差 そうすると原 拡大。 ある 発を動か は 東北を東北として、 てき た 0 は、 そう 地方を地方として独自 V う戦 後 の資本 主 の経 義 が 済圏 作 n なり 出 独自 た地 域 0 政

らな させた側 として自立させな 0 面は 13 うことがまずあ 非常に大きい W で、 わ る 東京 けですよね。 だろうと。 でや中 京圏、 だからそこを止めさせないと、 阪神圏 に従属させる動 É 0 中 どうに で受け入 n

原発労働を支えると てもう かとつ r.V 差別 う構図で僕は考えてい 0 問題っ てい う Ó ます は 原 発労働者 ^ 0) 差 別 ょ ŋ 別 が

部落出 わか 11 てきた。 人たち 0 まり 原 そこを止 2 発 自身の 7 そうい 被曝労 舠 11 11 るけ つま 人たちだとか 0 る労働に 間 8 なけ 題を ŋ った人たち n ?働…通常 だとも、 死 問 n 従事させら h ば わ でしまう 各地か なけ 止 0 まら が差別 非常に多く入ってくる。 定期 n :ら集め ば、 かも な n 点検だとかに入っ が的な状況 7 W よと、 原発に労働 きた背景です。 L れな られ とい に置か U てきた在日 長 うことを明確 力 を供給 期 れて、不安定化 て そ ある 的 41 n 13 0 ï 健康上 13 人たち が 人たちは は 0 あ づ る 日 であ け か 0 雇 る仕 た 5 IJ させ 41 · 労働者 るとか 原 Ź 41 b クを h 組 発 b にです ち が n 負う は ろ 動 7 b 変わ 11 h あ 13 員 7 る 地 る と 41 41 元 た が n は

# 朝野

するような発言者を登壇させることはどうなの b か か わ らず、 植民地主義やある V ・は差別 の構造っ かと、 てい そこを問 うことに関して、 41 た か ったとい

のが質問状の趣旨です。それは今も変わっていない。

うい 岡 う では 問 脱原 題も 今のところ起こってい 発を訴える人数自体が、 ない 東京に比べて少な のでお聞きしたかったのと、 11 と V うことが 私自身は1万人 あ る 0 で、

大同団結して 集会にあ んまり抵抗感が いくことへ ない… の危うさを教えてくれた例だなと今回お聞きしました。 個人であるなら行ってみるか ح ただ何でも かんでも

がとうございます。

# 真剣に議論するということ

丸田 例えば、 ふうに答えます。 脱原発するなら何でも V W じ ゃ な 11 かとい うふうに言う人に対して、

そういうふうに言われたら、 う んそうかもというふうに、 ちょ っとなってしまう

ところがあるんですが。

でしょう か 原発反対の集会なので脱原発が一致点ですとして、 V ろんな人が

来ますね。

出

だ」という を支えてい ていたビラ たとえば それはダメだろうということですよね。 ビラを撒いているんですよ。 (笑)。 6月 たのは大手マスコミだ」「その大手マスコミを牛耳っているのは朝鮮 って 13 11 在日朝鮮人が原発を動かしてきたという理屈になっているんですね うの 日 のときに、日 がすごくてね。 の丸持っている人たちが来てい だから「在日朝鮮人は叩き出 「原発を動かしたのは原子力村だ」「原子 せ」とい て、その うビラなんで たち が 力村

それを例えば主催者が、そんな主張をする 0 7 ます。 それを、 そういう人もい V か 人は 5 9 て言 出 7 2 41 7 0 7 V たら、 < れと言うべきだと僕 在日 0 人 たちち

れないじゃないですか。集会にね。

原発をウォ

ル

ストリ

0

例と比較をし

て話をしたけれども、

ウ

オ

ル

ス

丸田

が表明 に見えま H な 1 僕行 Ĺ n て、 0 っ てい てな どう る Ŕ V んだけど、 ل y 0 て 0 緒にい u t そこではさまざまなマ u られるかとい b е で見ただだけなの うことを一生懸命討 1 ラ リ で、 ティ あんまり理想化 議 グ ï ル て プ たよう 0) しち

のか、 だと僕は考え て、 そうするとそ 問わない 脱原 マ 方向 を動 て ħ ħ だっ ij V は 0 .ます。 に 運 ŕ か 運 たら 向か 動を狭 して 動 1 0) 0 良 きた様々な仕組みを変えるように問う方向 問 悪 ってしまう。 くな め 題とか 11 方 て V 1, は、 くことにしかならな 原発止まらないですよと、 さまざまな論点 脱 脱原発だっ 原 発と 11 う 一 たら一致してや につ 致点 41 0 W 0 運動 ては 中 で、 ちゃ 問 が多様に 2 題 てい に行く にす んと回答すること す なっ Ź くことが なと。  $\dot{o}$ h では て、 ń

出 丸田 それ 単純に言えばそうです。 は、 そう V) う排除とか差別とかする人は そうだし、 11 ろ んな論点が活発に出てきて、 寸 結な  $\lambda$ てできる わ it な そこで…だっ 41 Þ

て、

つまり原発を変えることは歴史を変えることでしょ。

よう なことに触れ けだから、 原 け b 発を止めるってことは、 な多様性を持ち込む人は出 な W 仕組みを変えるためには、今までと違った世界に人々が 単純に思うん たりとかしたほう ですよ。そのためには です 今まで原発を動かしてきた仕組みを変える がい てい け、 集会に来た人が いに決まっているじゃないです とか言 こって いろ いる人には んな論点を 11 知っ 住も か。 てもらっても ところ たり、 うと思わ ってこと がその W ろん な な

から 出ていけ 0 7 いうことで、 今までと同 じ世界に か 13 5 n な 13 と V うことに な ŋ

出 思ったことな わ か らな h です 13 í けど、 んですよ。 右と か左とか Þ たら気にす Ź h です Ĵ ね、 原 発 0 人 た

たような気がするんですけど、 あ ったころ は、 右と言えば どっ じ P ち、 あ今問われ 左と言えば てい どっ る 0 は右な ち ٤ 0) 地 左な 図 が 0 は 0 0 て W ŋ ń

49

## 朝野

たくさん新

11

視点をい

ただい

たと。

原

発に

行

<

なと

V

う

0

あ

n

か

た

が

ったなと。

Þ

n

ることをや

0

7

V 13

きた

W

な

と思

V

ま

た。 運動

にあ 11 屈 な は る だと思う な 階 0 級 は 7 か W な P 玉 うところ 11 ٠ ٢ 階 民主義 か h です。 すごく 11 身分を廃 が が 41 n あ 41 雑な議論に や、 ると な 0 11 思うん 絶 定義もなく、 国 0) 化する 民と か な なっ 0 11 ですよね。 あ と思 えば本来は右にな て話じゃ 7 いるんです 右 41 ました。 ない 国民 左と両方 です とい ね。 る うことに右も左も しか Þ か 0 n もそれ そ か るよう の立 な。 場と 左と がすご 玉 なき 11 えば 民 W 主 強 11 と 力 V 11 で 0 け 的 中 す。 う

#### 丸田 さ LJ

非常 です だけど、 原 お前 発 K 何 0 単 にし 純 なぜここまで難しく 5 死 な 心に行 h た で 0 て V か 11 41 な う 東電 9 V か 7 0) か 11 0 何 |何千万も なってい 0 で て送り込む 0 る まで しあ 給料 る 0 げ 9 か < 6 た b 5 5 n 原 0 て 11 9 な 発 で、 て で 41 V う V 0) 利 、る連中、 そ Ó か。 れで片付 が 結局 た人 ح お前 単 間、 の生きづらさの 純 くよう らみ 甘 なことだと 13 な気が んな行 妼 9 原因 する 思 9 て う 人間

することにし か なと。 自己犠牲 ると思う そ んです ح n か でも な か 利 けど 他的 責任 なも ځ そ V n 0 う をも は 0 Þ は ちろ 問う 9 ぱ Ĺ ŋ Ć 結 否定はできな Vi 局 か なき 玉 家 0 ゃ 責 13 任 41 け Ļ なり な W それ 為政者 自体 変な 理 0 O責 正 屈 当性 任 0 亡を免罪 7 とか 13 う

0

7 番わ 41 との か 0 人を殺 かり たところも考え 責任 P すことを す が 11 ア 例 レ が 神靖社国 強制 つつ 靖 国 |神社 した、 11 建てれ かなきゃ です ある ば済 Ĵ W ね む は 0) 殺されることあ あ か n 0 こそまさに て、 そ h なこと る 殺 W L た責任 は は 41 な ろ 11  $\lambda$ を、 だろう な 殺 を 0 た 7

け 国家だ とい S ح う ح 9 思 丰 か 民 0 たの ワ 族だとか、 は、 K ナシ 向 そう か  $\exists$ 0 () て ナ いう大き ij 41 ズム < 面 が 0 b 7 あ ると思 0 13 う言 13 向 か 葉に 13 、ます。 'n 0 きと、 V そ て考え Ō う 7 福島放棄と かと Z 0 h で ふ す

と思 か 9 お V 、ます。 0 b け ć 0 たんですけど、 \_ ふるさと」っ て。 じゃ そうい あ社会運動にとっ ったことを考えて て、 ふるさとっ V か なき て何 P V な け な 0) か。 13 0 か 力 な

ショ とい るん 11 しここが 0 とお です ち 間 ナ ij しさとい が排外し ろ ズムな 岡市 が、 Ą 住 め そ 0 ただ原発事故で住め な 0 う ベ 7 0 < ッ か Ó 13 なると考えて なっ K がふと芽生えてきた面もあ くという ځ る タ さと ゥ て感じたんですよ ン に、 か 0 )日頃 もちろ 何の変哲もないところに住んでい なくなるとい て、 0 美化 風景を見渡してみると、 ん外 さ 国 n う事態を目に る つ 0) 人とか て、 存 在 これが私 で も排外し は な したときに、 11 と思 の中のある意味災害ナ 今までにない 7 るんですけ Ž V くと h で 私大 11 す う 八野城市 悲 بخ 0 しさ あ

P P このキー であり、 「ふるさと」 ワ その F につ 原発の 9 7 V 41 輸出 うキ てどうあつかっ 国 1 ワ1 [である ドは ベト てい ナムであ 福島であ けば 41 ŋ 11 ŋ 上関 0 す かなという…まあこの後で ~ 原 てに 発を抱 つなが える 9 祝 7 島 11 で あ 0) ŋ

いいですし、交流会でも考えていけたらなと思いました。

b

ネリストを交えた議論を終わらせていただきます。 し 議論になって私たちも 「聞きごたえがあるなぁ」 と感想なんですけど、 これでパ

司会

質問 質問というか、 せっか !く来たから声をあげたほうが い い かなと思っ て。

うのは重要かなっ ちの運動とし 女が 月とかも 12月24日にデモとかするんです です か彼女とかい 文化的 僕とかも25 い る な活 人は かりやす ]歳童貞 て、 な きらびやか 社会と。 動とかあって、 いとい デモを ĺ١ て思うんですよ。 だけ です 家族がい けないという雰囲気を、 けど、 な雰囲気で僕も好きなんですけど、 じゃだめだけど、 練り歩いたりするのは いろいろ話とか、 ない けど、 カウンター 人だとか寂しい思い でもまあファシズ そういうのって非常に魅力的 カルチャ バリバ 演劇とかデモとか非 「おもしろいなあ」 ーとして、 ハリ撒か ムじ とかしてい それに乗っ ħ ゃ クリスマ な まくるんですよ い です 常に と思うし、 ると思うんですよ。 かれ けど、 わか スで彼氏と彼 だなと思う りやす な そう い人た 彼氏 ね

5年前でしたっけ。 自分たちが既成の資本主義から与えられた、 な、そういうの にあらがえるんじゃなくて、僕たちの価値観を打ち出すみたいな…。 2006年の 12月に初めて…。 彼氏 彼 女が ĺ١ てクリスマスわ い ゎ い

出

もなお東京で弾圧があると、 圧が東京であ すけど、 u つって、 f と の (フリ その 付き合 タ 時メ V 全般労組に) 0 福岡でビラを撒いてくれる感じでカン ーデーでパ 7 V うの クら 加入したの は、 れたんですね。 前 から コン が 2 0 0 タ ク そ 6 1 の 時 f はあ 年なんで。 パをくれたりとか ったみた u f そのとき弾 の人 V 八が…今 な Ñ で

20 してくれるん 0 6年の で、それで「これ クリスマス の時の ) デモで、 は1回お礼も兼ねて行かなきゃな」 そのときに、 まあなんと百 と思って来た 鬼夜行な 人たち 0) が

と。 b にカウンタ のすご いな、 ーとかじ とか :思っ Þ なく て非常に感動した憶えがあ 0 て、 自分たちがどういう形が ります。 ?楽し W か とか どう

だなと で文化って うふうに思 いうか 13 ・ます。 生活を作 るかということの自立性 ですよ ね。 それ

が

非常に重

W

そこに 0 で時間 け 何 Ć か自分 とりたい よっと言 が情 なあ 緒 13 的 た な V 0 6根拠が て思 ことが 0 あ 7 あ 0 11 る る たりとかして、 h です んですけど、 Ít ど、 さ それ 慣れ 9 き 親し 自身はすごく大切なこ ふ んだ場所 るさと で 0 あ 7 V う

とだと思います。ただ一方で2つのことが言いたくて。

は思う。 体的 見せなくして 人が でも K と僕は ルとか 愛着を持 山 な生き死 が ジじ つは、 間 あ 7 か 関係 ったり ゃ 思 ふ 5 つ V 9 Ĺ 13 な たり を抽 場所 であ て 7 13 るさと ЛÍГ いて、 ですか。 V する 象化し 具体的な人間関を飛び越えてしまうところは、 な を消去して 2 があったりする たり、 V 立身出 人も 0) って歌がまさにあるじゃ 「ウサ てまとめあげるのがナショナリズムの構造ですよね。 か 具体的 11 わ 11 世 るみたいですけど、 か ギ追 る。 云々 5 な風景、 ない h それ V だろうな、 0 L 話もあるんだけど、 けど、 か こそ「ふるさと」って 例えば 0) 乢 「ふるさと」とかっ みたい 日の コブナ釣 ない 危険だと思うんですよ。 沈み方だっ です な。 そう ŋ あ か。 しか れすごく抽 あ たり、 いう形で、 いう歌でね。 の 川 て歌っ n すごく問 が <u></u>  $\mathcal{O}$ 勾配だったり まあ 象化 تح て反原発 本当 題だと僕 個風景を 11 のどこに され そ 0 は で ア

うひとつ言 W たい ことが、 土地 に 対する愛着っ て 11 う 0 が 風 景に 対する愛着

けに ろう 7 にはい つ ż と思うん ても借 Ó かな が り暮ら W だけど、 僕もない みたい しが基本じゃ 一方でフリー な。 わけではな そういう制度の中 な W ター層って んですよ。 いですか。 で生きてい いうか、 ここはず それで多くの 不安定層っ くっていうのがあって。 っと俺のもんだ、 人たちが、 てい うのは、 それを持 つ てい 地 つだ つ

働組 たくさん かする。 だから 合で、 東京だとい シーそん W るわ 地域 発労働とかまさにそういう人たちがたくさんいて、 けです。 0 なに転々とは ろん っていう形で な地域 そうや から L ない って暮ら Þ 来る人、 9 ているから、 かもしれないけど、 て まあ 41 る人っ 帰っちゃう人、 どうしてもその土地 て結構多く V ろんなところに行 あるい W て。 なく は な 0 形でなるんだ 今も私たち労 0 ち った P う人も ŋ

これ長野 最近 レ だ行 オ ったときに、 スが たくさん 松本 建  $\dot{o}$ 0 んだよね 生存を支える会 0 7 0) 八木さん か 5 教 わ 0 た h で す 17

オ 0 話だと、 スに 当然引っ レ オ パ 越して レスに転居の くる 人が *7* \ ιV ン る。 コ が5個位押されたや それ で生存を支え る 0 会 が 来 0 る。 仲 間 0 で まり

け

0

こう

13

ると。

ここで宣伝

しても

24

日にここでデ

モ

が

あ

0

て、

25

H

東京

41

る

ってことは

た

61

の友 っ て 5 は 手 間 くら 紙 0 間 か を にこ b 出 連絡 *ا*۱ し 0 ン て、 ち行 が コ それ が ほ 押さ 9 7 11 が あ か れ でもその ちゃ っち行 ら、 転出届 0 てる。 9 人に 7 0 を郵便局にすべ 直接次 そう て…そこをも Ŵ 々移 う 形 9 で暮 ち て出 ゃ 5 か 9 L したら て言 て 7 W 13 えなな るわ る ځ 人 た V る け さと ち か で b 0 7

は で で仕 う 9 ワ H 7 5 ともうひとつ。 V か 何だろう 5 0 0 0 か 組合 を 7 な まあ なという気も V L か ŋ で 7 実は か Ĺ b b あ が 最 0 5 責任の 7 V 0 n 近 ふう 水 3 7 な ち するん 商 んな人間関係 移っ 11 V です 売系 に考えると、 て、 7 です どこに í けど、 が さっき丸田さ Þ 多多く 9 ね てる。 今上 行く さ、 0 とい それ ほう 薱 丰 と仕事が そうするとそこに に例  $\lambda$ うところを言 はまあランド が t \*熱い の話にあったけど、 バ えば根拠を ク あ h ラ 関係 るか だ、 ス 9 W کے 0 ておきたか 求 ケ 7 や蕨 か お め 41 0 け 7 プ う る 14 0 9 問 Š 報 ح 難しく 題も るさと た を か 巻 0 ほ ね 0 あ う 地 0 1 て、 る て、 が X

13 ほ h どから責任 です V わ it その 責任 ですよね 逆 って言って の側 13 13 る る Ň 1 % ですけど、 0) 人たちを想像 わ れ わ する n は 0 99 % て で いうことが は なく 0.1 % か b か な L か n な

てい 0 間 は は る 絶対 んです 題や 下手すると同僚 n 13 やっ h 誰 発ん だぜ 0 が が か て て なけ 八格化 0 0 じ て、 たい て言 るべ 直接雇用 か まあこ なきゃ ń ば どう きで 13 0 てどこに 7 向 11 け はな かう、 れもf V して 41 な け う 権造が そ (V な V 11 W とい のは n る人間に 0 u る は 討 f 0 全く もち う形 どう 0) あ 7 ŋ や W て 一回答に ろ 向 で憎悪が ŋ う かう、 方も ても 41 何 h Ó にです。 か が を特定 なけ なら 聞 憎悪は身近な あ % あ 13 7 n なの な る る 11 ば 13 やそん わ 13 41 て けで は単 ろ か h 11 だろう つ け と V 7 なこと -なる上 人に向 な す ろ V 勉強 う 11 11 うこと な な そこ と思 と思う 長に は した かうっ なく 向 を、 0) 41 Ĺ t かう なと 7 で 資 ŋ Vi す 本主 0 や 出 か

ら動

か

すことが不謹慎であると。

心に リア 話なん す。 h なっ ij な ŕ で 41 て、 さん す と…まあ東電解散 ít 東 ッ شك 2 てい 電 ね。 T 0 う、 勝俣会長 今日 b 3 年前 [も地 東京電力 リア の家を見に行くという 下 13 ´リテ あ 鉄 0) りましたけ 乗 会長 イ 9 たら 1 0) ツア 方 T の家を見に行こうこと。 ーというの بخ ソ ゥ それ なんとか ッツア 0 ーを をうちの組合もか 玉 賠 って…。 Þ いります。 (国家賠) 麻生 どっ 0) グ (元総理) か h ル で聞 でや プ が ŋ 11 た ま 中 0

んで けな S しまし とつとして考えてい それ す W たの 任だとか it で、 だろうと思 で 東京 そ 東 n 電 電 あ を 万 0 W 持 解 る 0 るものです、 解散 V 9 僕 散を提起 て はどこが問題 が 行 代 届を 9 わ てサイ したい 用意 ŋ Œ 1文章書 L という宣伝をちょっとしてみました。 と思 てあ な ンしてもらおう。 0 か ŋ 11 41 ´ます。 ます」 2 7 ていうことを明 おきました。 0 勝俣さん て。 それ あとはサ が 一誠に はその らか まあ 申し 場で言 13 一応 1 するとり ンをする 訳 25 日 すみませ な わ V n っだけ それ くみ て ح は な

和感 い が発生して、 労働運動のことから思い っ の 本拠地はどこも被害が てたのが、 っていたわけ プ 口野 い う の間に 球の 開 っきり離れて違和感ということなんですけど、 か なか 幕が ダ ったのに、 セ・パ両リ ッて太 流れになって 被災地のことを思って開幕を延ば ーグが3月25日。 いっ で、 て、 それにものすごく違 セリー グの 球場チ す 11 Ń, に 地

3

質問

出 11 わ ゆる自粛 それ はあの、 計 画停電… 東京 でも変な話です Ĺ ね

でか すよ Ó と止 ぼ 止 11 まっ 建物で、 東京都 ク時の 2 8 7 7 7 芹 電 お か る 地下鉄 なき でし とか 力量 くならまだわ や ţ ° に労働委員会があ 0) か 調整だけ ら上が け エ な ス かる カ 13 9 0 0 7 んです。 そん 話だけど、 V 夕 くとき、まあ大変なんです るの な も止 0 الح で行 でも全部 1 日 ま ク時 0 くことが 7 中 立 īĿ. 0 W ス 午後2時 る 8 る でし あ 力 わ 9 レ it ょ。 て、 とか Ŕ, な 夕 そこが んです 階段か 午後 とこ 止まっ よね。 ろ です け 時 Ĺ が 7 とか げ 工 41 る 0 てこ また n ベ h は で

そう れば するとき 合うとか 13 る それ なら いう ところなんですけど、 が きあ、 の も な に必要なことなんだけ 一緒にこう苦しみを共にするっていうことが、 い』ということがあったというんです みを共に受けなけ 『共苦を共に苦しめっていうことを受け入れろ』 つまり全体に、 共苦 今停電で大変で福島では電気が の感情って共に苦しむっ ればならない。 ども、 だけどまた別次元で、 だからちょっ Ŕ. だからそ お互 てい 一いに相 うのが、 とここは非常に 『苦しみが という。 0 なくて、 開幕 宣が 苦し それ 理 共にされ が しみを分 遅 解 議論 n Ĺ が Ĭ た なけ か が か 0 ち

すか が見たい きだと思うん それ をみ は h んだって言ったら「人間かお前は」みたいな感じで言われるわけじゃ 《節電キャンペーン》だったり、 なで受け入れよう、 んですね。 そこを問題にすごくしにくいところですよね。 福島 の野菜を食べようだとか、 そういうところで行われ 今もなお続い てき だったら、 た ľ 7 な 例 11 11 野球 る動 え で

実は、 イ ル ミネ シ 彐 ン 大好きなんですが、 まあ首都圏でも イ ル ミネ シ 日

ことが、 当に人間にとっ るなんてと思う気持ちもわかる ぶりなんですよ。 れないところがある なん か変な政情 て大事な感情である苦しみ それ んだと思います。 を見て、 の中に置かれて んだけど、 福島のことを考えると、 11 でもねえって る。 を分かち合う そこが違和感とい イル だとか、共に苦しもうとい いう感じもするん ミネ ・うか、 1 ショ すごく ン だです が 0 割り Ŕ, 7 切 ń

九州 ういう文脈で語ればい に住 h で い ても、 震災のイ のか、 ずっと考えて ンパ クトは相当大きかっ いました。 た。 自分の中でも、 震災をど

質問

かりませんが、 今日は、 ないか、 お話に上がらなかったですが、 私は個人的にそう感じました。 とい うように思い ました。 日本とアメリ 変わったの カの か、 関係 維持されたのか、 も あ の ときに 変わ よく分 つ

ア メリカの東アジア・太平洋局日本部部長、 ケビン・メアが、 沖 65

震災が始まる前に、

るわけ しかったりするわけです。 行ってしまった。 縄は怠惰でゆすりの名人だ」という内容の発言をし、 いと思ってい ですよ アメリカ軍への期待が高まる中で、 ま ね。 す。 急に、 私は、 浦沢直輝の 軽々 アメリカ軍は しく「トモダチ」なんて言う人間が一番、 20世紀少年でも、「ともだち」と口にする輩が最も怪 「トモダチ」という名前のついた作戦 メアに対する日本人の怒りはどこ 更迭され ました。 友だちでは か を開始す

園町なのです。 を落としました。 行き場を失った人々が避難してきました。 ている東京都 個人的な経験ながら、 かね ここは、 てから気になって の施設です。 1923年の関東大震災や、 その場所に、 震災からしばらく経って東京に行く機会が 関東大震災発生時、 い た横綱町公園の東京都慰霊堂に足を運んでみることに 慰霊堂を建てて死者の霊を慰めたのが、 しかし、 もともと陸軍の被服廠が 東京大空襲で亡くなった方々を慰霊し 結局火災に巻き込まれて多くが あり ŧ あった場所 現在の横綱 そこ

に

比べ ます。 とか。 と曲が にしたものがとても多い。傷ついた国民とそれを助ける陸軍の兵隊たちというように。 有馬生馬という画家の作品です。 震災や東京大空襲当時の生活用品が保管・展示されています。 『何とか将軍が視察に訪れました』という内容で、 同じ敷地内の別棟に、 て存在感が著しく薄い。 それ以外にも、関東大震災を描いた絵画が20~30枚残ってい もちろん、 った花瓶であるとか、被災した時刻を指したまま、 絵画の中には、 東京都復興記念館という施設があります。そこには、 ただし、 赤十字の救援風景も描かれているのですが、 復興に向けて頑張っている陸軍をモチーフ 雄 々 しく描かれているもの 永遠に止まった時計である 例えば、 ます。 熱でぐにゃっ 徳永柳洲 いもあり 関東大 陸軍に

کے 関東大震災によって、 それと同時 これらは、 震災の対応が後手に回ってしまった菅直人政権に対する国民の不信感と、 全て3月以降の日本で起こったことと被っ 政党政治に対する不信だとか、 平和に浮か れる大正デモクラシ 軍隊に対 しの て見えてし する過剰 気分が全部吹 な期待が生じ まいます。 5 飛 んだ そ た

東大震災後

の社会の雰囲気

が

一致するんです。

その一方で、

自衛隊やアメリカ軍に

## 出

分の経験を含め 東京都 流価が 上が 慰霊堂は恋人たちの観光スポットに ってい て そんな風に ر ک いう。ケビン・メアの話しはどうな 思い ました。 も なり、 震災 の持つ歴史が ったんだよと。 新 私は た な

味へ奪用化され における変化 をご質問させ ておりま いすが ていただきた 私からは政治や軍隊を手が い と思い ます。 かり に 日本のガ

バ

ナ

非常に重要な指摘だと思って。確かにそうなんですよね。

以はまあ 政 治不 天皇 だけ -信と、 あ 0) 機能 れだけ Ć であ な あ る ń 13 ども、 と思うん 9 V たり、 は 軍とか行政 統治 んです。 ブー へ の 夕 とか、 ン 信頼をどうやっ 0) 国王夫妻だっ そういうことに対 て回復する て、 単 -純に軍 する か 2 実 7 í が 自衛隊 信 W う。 頼 が そ が n 0 が 7 例

害をぶ を言 つけ V あ た 0 V かとい て調整してい うと、 政治っ くとかまずあるんだけど、 7 41 うことが、 本来 特にこ は様 Þ な の震災以降、 利 害対 立 が そう あ n

であ 軍の によ 13 る統治 るというところに対する信頼 は 評 で の政治 価 「災害だから自衛隊だよね」みたい が への な ではなくて、 期待。 ŋ 高まってい まあ専門家の信頼も地に落ちてい 統治の る のは、 方向にか の高まりです 「やっぱり核だか な。 なりシ そうい フト う専門的 L ら米軍だよね」 るんだけど、 ていますよね。 な機能 だけどア にを提供 みた つまり す 41 á 専門 な。 メリ 集団 力 家

理が では を得ら ふうに監視 万 0 時 できるわけ W れ 出したんですが、 41 なか か 出 たちに か」ということでした。 7 7 き った提案が V 頑張 が 」というも た反論は、 くか ない 0 って。 つ てもらうしかないでしょ」 7 市 あ 「今の 民団 いうことをや 0) りました。「東京電力に事故 それを任 で 体がい した。「とりあえずこの 事態は、 当たり前ですが、 せてい ろいろ集まっ って 専門 (V) けば隠ぺ 的 か みたい な知識 なけ 事故 て協議 ń W 事態を とスキ され 収拾をまかせては ば な意見は出てきたんです を起こした当人が、 41 したときに、 けな たりするか 収 ル 東させ を持 41 つ というもの た人 5 提起 るまで、 V たち どう 事故 け L な 7 です。 0 41 同 管 う 意 0

69

対

だけ

n

方で統治は官僚機構が

L

っか

りが

ち

握

9

7

V

て、

そ

n つ

力

が

11

てファシ

ズ

4

0

て

13

うと、

普通

は大衆運動…大衆的

なワー

と思うん

です

ね。で、

それでだから一方で政治に対

する っと

不信感は裏側

とし

7 0 7

あ

ただ日

本の場合、

原子力災害にお

V

てポ

イント

になる

のは、

この機構

頼

を得

な

W

9

7

V

う。

統治

0

機構や専門家に

対する不信

も言わ

れてき 統治

て

11

て、

V

<

0

は自

衛隊とか米軍の

信頼、

いざとなると頼り

Œ

なる

0

・ます。

特に

ij

スク社会って

いうか、

リスク化した状

況

0

中

で、 て

政治

9

7

上してしまうんですよね。

そこが

かなり

問題を含むところ

専門家 n

の手にゆ

だねられ

7

1/2

るとい

う傾向

が非常に強まっ

てい

るわ

け

った今ま

での

々

が

問うし、

何かそ

0

か

で

調

整

2

う仕

組

の中にあるという感想は持ちました。

だなあ では でもそうすると残って う 大きな流 0 と思い が よねという感覚が浮 そうい て、

## 司会 出 最後に山口さん、 一言お願 ίì します

分の ただきました。 にかく、 非常にとりとめ 考え方も混乱しているし、 ですけど、もう9 そのままも 0) ない 0 か月経 てくるしかない 話をしてしまっ つ 運動状況のい たんですが、 て、 かな」 もう少し整理した話をす と思って、ちょっと来てお話をさせて ろいろな動きも混乱もある いろい いろ混乱 して 41 るんですよね。 / れば、 できれ それ ば

とか んだその、 けない ただ、やっぱ ュニ いうことをちゃ ふうに思 くことがたぶ テ かなっ 要は自立的に自治的に人々が 1 りその を作 て思 っ て ん労働 W 9 んと共有っ 0 中でも核としてとっておかなきゃ ・ます。 7 て強調しようと思 13 運動 く発想は、 そ てい れによっ 0 最大の ・うか、 何としてでも維持 て、 つなが 力になるんだろうと思っ 9 7 交流させながら、 お互いがお V たのが、 って、そ それ 13 れが 互 ï け 11 7 ない たこそ f を強 対抗 :結局 13 か 、おさえてお なけ 7 8 的 61 て、 ろん なというか u 41 ますの ń f お互 の皆様 な生活文化だ 13 け な 文化 が な か か 61 b き を な や

う

É

「震災ファシズムに回収されない労働運動とは?」 一FUF通信增刊号一

2012年2月19日 第1刷発行

編集人…… 原草むさお (FUF) 本文起こし ..... 花栗ハナミ (FUF) 装幀 ····· 岩野秀俊 (FUF)

発行者-労働組合フリーターユニオン福岡 〒 814-0041 福岡市中央区大名 1 丁目 3 番 42-304 号 電話 /FAX (092) 711-5012(代表) / 携帯電話相談窓口 (090)9980-2106 ホームページアドレス http://fufukuoka.web.fc2.com 郵便口座振替 01720-8-46963 (FUF)

於・福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)2011年12月17日(土曜日)

ょ

#### フリーターユニオン福岡の連信は 「FUF」

労働運動とは?

